

～北陸へ環境にやさしい新幹線で行こう！～ 北陸新幹線への再生可能エネルギー導入による CO₂ 排出量削減の取り組み

西日本旅客鉄道株式会社は、2024 年度から北陸新幹線糸魚川駅～金沢駅間の運転用電力について、太陽光発電によるオフサイト PPA を通じ、再生可能エネルギー由来電力を導入^{※1}することとしています。これに加え、2024 年 3 月の金沢駅～敦賀駅間の延伸開業にあわせて、列車運転用電力に非化石証書を活用した再エネ電力を追加導入します。これにより、オフサイト PPA 分を含め、北陸新幹線の運転用電力の 10% が実質再エネ化され、速く快適で、より環境にやさしい北陸新幹線の旅をご提供します。

JR 西日本グループは、環境長期目標「JR 西日本グループ ゼロカーボン 2050」を掲げ、グループ全体の CO₂ 排出量を 2030 年度に 50% 削減（2013 年度比）、2050 年に「実質ゼロ」とすることをめざしており、再エネ電力の導入は、その目標達成に向けた主な取り組みの一つです。私たちは脱炭素社会の実現に向け、今後もさらなる取り組みを進めてまいります。

※1 2024 年 2 月 29 日公表：北陸新幹線に再生可能エネルギー由来電力を供給するオフサイト PPA の締結

(https://www.westjr.co.jp/press/article/2024/02/page_24619.html)

1. 再エネ電力導入対象線区

北陸新幹線 糸魚川駅～敦賀駅

2. 再エネ電力の導入量

オフサイト PPA 分と併せ、JR 西日本管内の北陸新幹線の運転用電力の 10% に相当する、約 3,200 万 kWh/年を再エネ電力に置き換えます。

3. CO₂ 排出削減量

約 10,200t^{※2}（一般家庭約 3,700 世帯分）CO₂ 排出量が削減されます。

※2 2022 年度電気事業者別排出係数の全国平均で算出

4. 導入方法

太陽光発電によるオフサイト PPA のほか、当面の間、日本卸電力取引所の非化石価値取引市場において、非化石証書を調達します。（将来的にさらなる再生可能エネルギー由来電力の調達も検討していきます。）

今回ご案内の取り組みは、SDGs の 17 のゴールのうち、特に 7 番、11 番、13 番に貢献するものと考えています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

JR 西日本グループは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

